



# 富士河口湖町教育センターだより



No.28 平成 21 年 3 月 発行

平成 20 年度もわずかととなりました。関係機関や各校のご理解ご協力をいただき、円滑な運営ができたことに心より感謝申し上げます。教育センターでは、設置当初より、地域を生かした学習の企画・実施、教育のサポート等の運営に携わってきました。めまぐるしく変わる社会・教育情勢に柔軟に対応することを念頭に、事業の定着・発展に努めてきました。

今年度は、理科環境副読本の改訂の年でした。前本の問題点の洗い出しに始まり、世界文化遺産等の話題も取り上げ、より精選された仕上がりととなりました。

町内の小学生を対象に、地域を生かした体験活動のプログラムを作成し、実施しました。

(小学校 5 年生「理科 川の学習」、3 年生「図工 木工の学習」)

また、教育職員の研修も各種行い、サポートに努めました。教育に関する情報の収集・把握の一環として、「子ども生活アンケート調査」を実施し、前年度や全国との比較や考察ができました。

指導の資料として、活用されています。常設の教育相談では、昨年 4 月より相談員の 1 名増加により、対応範囲が広がりました。児童生徒の瞳に輝きが戻ってくるのをあたたかく見守っています。

各校への代替派遣事業も年々利用が増えてきました。先生方からも「安心して研修にでかけられる。」との声が多く聞かれました。

さる 16 日には、教育センター運営協議会が開かれ、今年度の反省と来年度の展望について話し合われました。英語教育の小学校導入を見据えての方向が提示されました。これからの大きな課題です。



教育センターが設置され 4 年が経ちました。各種事業も普及してきました。これからも、あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

